

# 大阪府立四條畷高等学校 平成 30 年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

## 【1】日時

- ・平成 30 年 6 月 26 日(火) 15 時 30 分～17 時 30 分

## 【2】会場

- ・本校大会議室（東館 2 階）

## 【3】出席者

- ・委員：田中保和〔会長〕, 阪口葉子, 乾昭彦, 串田ゆか, 橋本明子 (欠席：梅田和子〔副会長〕)
- ・校長：松本透
- ・事務局：森教頭〔事務局長〕, 中角首席〔進路〕, 笠松首席, 新井教諭〔GL〕, 吉田教諭〔SSH〕  
竹中教諭, 三好教諭, 橋崎〔記録〕, 森川〔記録/文責〕 (欠席：竹島事務長)

## 【4】次第

- ① 学校長挨拶
- ② 運営協議会委員自己紹介
- ③ 事務局紹介
- ④ 運営協議会会長選出
- ⑤ 協議・報告
- ⑥ その他(次回予定)

## 【5】議事・報告要旨 (<>内は報告者)

### 1. 運営協議会会長選出

別紙「大阪府立四條畷高等学校 学校運営協議会 実施要項」第 9 条の規定に基づき、会長に田中保和委員、副会長に梅田和子委員（本日欠席）を選出。

### 2. 本会の「学校運営協議会」化について<校長>

別紙「大阪府立四條畷高等学校 学校運営協議会 実施要項」に基づき説明。

文部科学省の制度設計変更により、昨年までの「学校協議会」が、今年度からいわゆる「コミュニティスクール」における「学校運営協議会」になったもの。主な違いは以下の 2 点。

- ① 翌年度の学校運営に関する基本的な方針について、運営協議会が協議・承認を行う。

なお、平成 31 年度方針については、第 3 回運営協議会で承認を受ける予定。

- ② 職員の採用・任用について、協議会が、予め校長の意見を聴取の上、校長を経由して大阪府教育委員会へ意見書を提出することができる。

### 3. 本年度の学校経営計画に関する事項等

#### (1) 「平成 29 年度学校経営計画及び学校評価」「平成 30 年度学校経営計画及び学校評価」について<校長>

別紙「平成 30 年度学校経営計画及び学校評価」「平成 29 年度学校経営計画及び学校評価」に基づき報告。

- ・「平成 30 年度学校経営計画及び学校評価」

昨年度第 3 回協議会で提示のとおり。

- ・目指す学校像

創立以来の方針をゆるぎなく継承しつつ、創る伝統をキャッチフレーズに進めていく。

- ・中期的目標

全教員の授業見学、校門挨拶指導を実施。ドイツへの海外交流は今年度は実施しない（来年度は実施予定）。先日の地震で保護者への情報提供が不十分だったので、対応を検討する。

- ・本年度の取組内容及び自己評価

数値化できるものを目標に掲げ、第 3 回協議会で具体的数値結果を報告する予定。

- ・「平成 29 年度学校経営計画及び学校評価」について

昨年度第 3 回協議会で前校長より報告のとおり。

#### (2) 進路状況について<担当主席>

別紙「2018 年本校生の進路状況（現役生のみ）」「過去 3 年間の推薦入学試験結果」に基づき報告。

- ・進学実績

70 期の国立大学現役合格者数は、文理学科を設置した 66 期以降、最高の進学実績となった。

大阪府の GLH10 校中では 5 番目。結果として、浪人・私立大学合格者は減少。

- ・推薦入試

京・阪・神大を含む国立大学が推薦枠を拡大しつつある中、当校も課題研究に力を入れており、それが推薦入試合格者の増加につながっている。

#### (3) 今年度の GL 部の活動について<担当教諭>

別紙「平成 30 年度グローバルリーダーズ（GL）部 活動計画及び報告」に基づき報告。

- ・変更点

SSH 2 期指定と 73 期生のオール文理学科化を受け、73 期生は全クラスを対象に、担任・副担任双方による学年一斉受業で実施。72 期は担当者会議を隔週→毎週実施化やファイリング指導を実施。アンケート調査の QR コード化やブログ発信を実施予定。

- ・成果

教員の意識改革や研究活動への理解と共に、指導の統一感や疑問解消、情報共有が進む。

校内発表 2 回を含むアウトプットが増加すると共に、ファイリング指導が定着した。

- ・課題

フィールドワークの安全性確保と生徒の主体性とのバランスの見極め。

生徒のイベント申込数減少への対応。

記録ノート記入のモチベーションアップ策の実施。

- ・新規取組予定

「他チーム発表への批評」を新たな活動に取り入れていく。

(4) SSHの活度状況および今年度の活動計画について〈担当教諭〉

別紙「SSHの活動状況及び今年度の活動計画」に基づき報告。

- ・2018年度よりⅡ期5年間の再指定を受ける（2018～22年度の5年間）。

- ・校内運営体制

計8名で運営。他校と比較して人数が妥当なのかを検討の上、提案を行いたい。

- ・インプット・アウトプット活動

所属ではなく、意欲を重視した選抜へシフト。

- ・探求ラボ

多くの生徒が部活動も行っており、その両立や、指導する教員への負担が課題。

- ・新規事業・重点取組

学生TAの活用やSSHブログの開設を新たに実施。

高大連携の一環として、大学主催の研究活動紹介や先進校の先進的な取組の視察を実施。

- ・課題

持続可能な活動とするために、指導体制の整備（手続き整理、指導者育成・確保、特定者への業務集中緩和）や増加する課題の整理、優先順位付についてのルール化が必要。

【6】委員からの質疑事項（「→」は回答）

議事・報告事項について、以下の質疑応答および意見交換を実施した。

- ・〔会長〕平成29年度の学校評価については前校長の名前で記載すべきではないのか？

→〔校長〕年度が改まって前年度の評価を行うので、現校長名で評価を行う。

- ・〔委員〕副担任の先生はどのように任用しているのか？

→〔校長〕各学年所属の担任外の教諭がいるので、その者が任に当たる。

- ・〔委員〕QRコードの配布方法は？

→〔教諭〕オンラインでQRコード作成し、プリントアウトしたものを全校に配布する予定。

- ・〔委員〕記録ノートの作成について、共有もできる「グーグルドライブ」を利用してはどうか？

- ・〔委員〕卒業生の調査票はあるのか？

- ・〔会長〕SSH指定校は追跡調査が義務付けられているが、何らかの形で実施しているのか？

- 〔校長〕同窓会中心に実施しているが具体的にはまだ対応していない。個人情報問題に抵触しない様、協力を得て追跡調査を進めたい。
- 〔教頭〕当校 67 期生が SSH の 1 期に当たり、ちょうど大学を卒業するタイミングなので追跡調査を進めたいと考えている。
- ・〔委員〕自習室について、どのような運営を行っているのか教えてほしい。

→〔主席〕7:30～20:00 で開室(20:30 完全下校)。54～55 席だが、試験前は一杯になるので 75 席程度の大講義室や追加で食堂も開放。更に廊下にも座席を設置。教員は有志を募っている。
  - ・〔委員〕「学校運営協議会 実施要項」は大阪府の雛形を流用しているのか？

→〔校長〕そのとおり。多くの学校は流用している。
  - ・〔委員〕SSH の 1 期目からの他の変更点は？1 年間の予算はどの程度か？

→〔教諭〕1 期目のテーマはエネルギー。今期は 1 期目を発展させて段階的に体験する。1 年目にエネルギーを学び、2 年目以降は自由にテーマを選択。最終的には技術者コース、研究者コースを選択して取り組む。予算は年間 900 万円。設備や講師への謝金等に利用される。
  - ・〔委員〕課題研究アンケートの満足度が目標の 80%に対し、69%だった理由は何が考えられるか？生徒はあった方が良く思っているのか、それともなくとも良く思っているのか？課題研究が上手いかわなくて達成感が得られなかったことに原因があるのか？

→〔教諭〕「課題研究が無い」とのことで普通科を選択した者も 2 年生から急に課題研究が全員に課された事に一因にあるかもしれない。また、アンケート時期も関係しており、発表会を終えて達成感が感じられる最終段階で調査していれば結果が良かったかもしれない。
  - ・〔委員〕地震等、緊急時の連絡体制について、保護者にはどのように行うのか？生徒自身は LINE の活用が浸透しているようだが、学校としてどうするのか？他校ではメーリングリストを活用している。

→〔校長〕メーリングリストは外部システムのサービス終了に伴い、この 3 月で一旦廃止した。しかし学校からの配信は必要だと考えており、メーリングリスト復活は早々に検討したい。
  - ・〔委員〕「働き方改革」の言葉が先行しているが、先生健康配慮が必要。
  - ・〔会長〕改革にはスクラップが必要。人の頑張りだけではなくシステム化が必要。残業削減の数値目標を掲げている学校もある。
  - ・〔委員〕教員の出退勤の把握方法は？教育委員会は把握しているのか？

→〔校長〕出退勤時にカードリーダーで記録し、データ化。教育委員会でも把握している。

- ・〔委員〕後日で良いので、不登校生徒のデータが欲しい。
- ・〔委員〕進学について、地方大学の良さをもっと生徒へ教えて欲しい。骨太な人間形成のためにも是非ともお願いしたい。
- ・〔委員〕GL部の活動について、ブログの発信だけに留まるのでは不十分とはいえ、「ある事」に保護者として安心感があるので是非続けていただきたい。
- ・〔委員〕SSHについて、科学者コース、技術者コース等の棲み分けの提示は生徒にとって大変分かりやすい。先生も生徒を媒介して夢を持ってほしいし、そういうシステムがあるとよい。
- ・〔委員〕生徒は書く習慣が全くないので、世の中の流れもあるが、書かせる様にして欲しい。

#### 【7】次回（第2回）について

- ・日 時： 11月中旬を予定。具体的な日程は別途メールで調整。
- ・内 容： 昨年同様、授業見学の実施等を予定。

以上

#### 【提出資料】

- ・「大阪府立四條畷高等学校 平成30年度 第1回学校運営協議会」次第
- ・「平成30年度 四條畷高等学校 学校運営協議会関係者名簿」
- ・「大阪府立四條畷高等学校 学校運営協議会 実施要項」
- ・「平成30年度学校経営計画及び学校評価」
- ・「平成29年度学校経営計画及び学校評価」
- ・「2018年本校生の進路状況（現役生のみ）」
- ・「過去3年間の推薦入学試験結果」
- ・「平成30年度グローバルリーダーズ（GL）部 活動計画及び報告」
- ・「73期生1年探求チャレンジI 授業計画」
- ・「SSHの活動状況及び今年度の活動計画」